

第147回

2021. 10. 22

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 289社、回答企業 185社、回答率 64.0%
調査対象期間	2021年7～9月期の実績見込み、10～12月期および2022年1～3月期の予想
調査時点	2021年9月上旬～下旬

要約

2021年7～9月期の業況判断(季節調整済)は悪化 先行き10～12月期、2022年1～3月期はともに改善する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2021年4～6月期と比べ2021年7～9月期(前期→当期: $\Delta 4 \rightarrow \Delta 21$ ($\Delta 17$ ポイント))は悪化した。なお、前回調査時の予想($\Delta 4$)と比べても悪化している。業種別では、製造業(同: $0 \rightarrow \Delta 20$)、非製造業(同: $\Delta 4 \rightarrow \Delta 22$)とともに悪化した。8月下旬から9月中旬にかけて県内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、とくしまアラートが「特定警戒」に引き上げられた影響などへの懸念が背景にあると考えられる。

なお、売上げ BSI (同: $4 \rightarrow \Delta 15$)、収益 BSI (同: $4 \rightarrow \Delta 14$)とどちらも悪化した。

先行きの業況判断 BSI は10～12月期予想は $\Delta 13$ 、続く2022年1～3月期予想は1と、ともに改善する見通しとなっている。

2021年7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ2.7ポイント上昇し、総投資額も同38.1%増の約333億円であった。業種別では、非製造業が同12.2%減であった一方、製造業は同47.4%増と全体を押し上げた。先行き10～12月期の計画は7～9月期の実績見込みと同様に、実施企業の比率は前年同期より0.9ポイント上昇、総投資額は同342.3%増・約911億円の大幅増の一方、2022年1～3月期は、同45.4%減・約90億円と減少に転じる見込み。

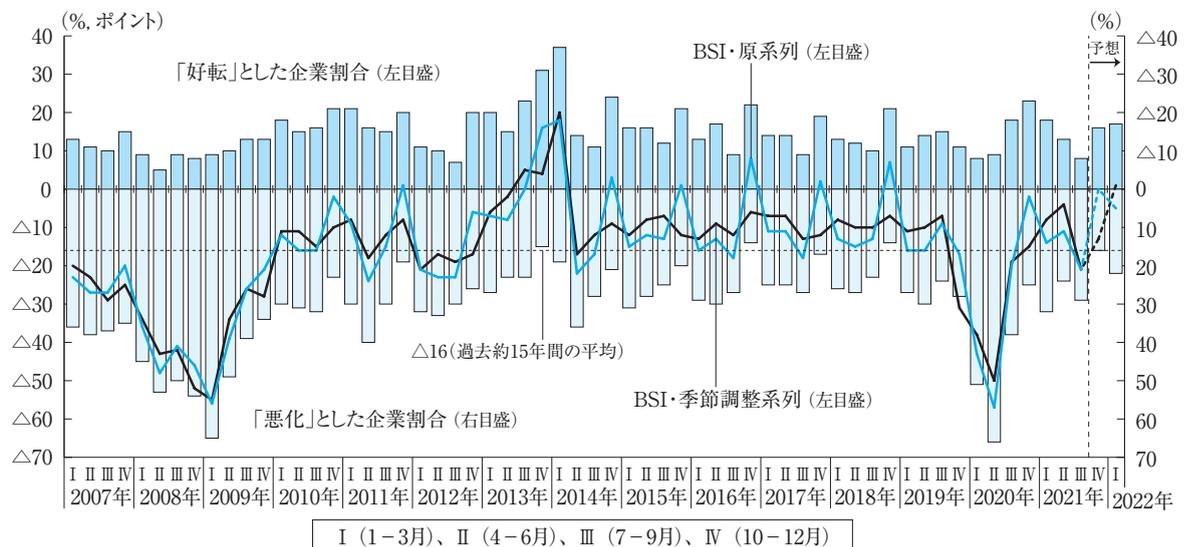
なお、今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも悪化している。

1. 概況
(全業種)

【2021年7～9月期の実績見込み】 業況判断は前期から悪化

県内企業の当期(2021年7～9月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、収益BSI(4→△14)、売上げBSI(4→△15)、業況判断BSI(△4→△21)とすべての項目で悪化した。8月下旬から9月中旬にかけて県内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、とくしまアラートが「特定警戒」に引き上げられたことなどの影響を懸念しての結果とみられ、業況判断BSIは前回調査における予想(△4)と比べても悪化した。

企業経営者による業況判断

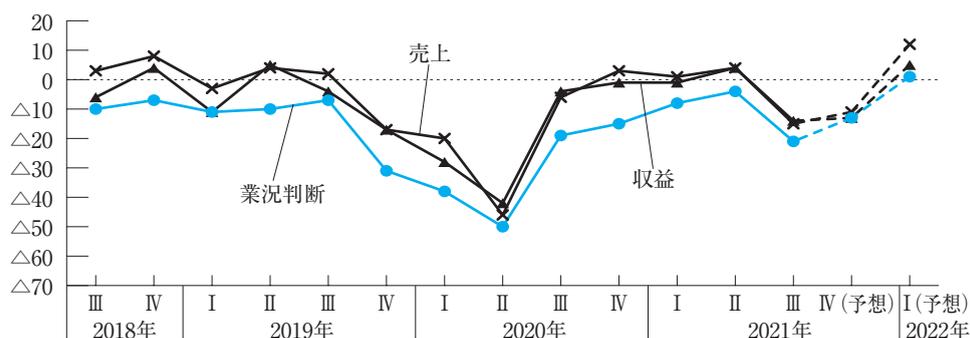


注：季節調整は、米国センサス局開発のX-12-ARIMAにより実施

【10～12月期・2022年1～3月期の予想】 業況判断は10～12月期・2022年1～3月期はともに改善の見通し

2021年10～12月期の予想は、7～9月期に比べ収益BSI(△14→△13)はほぼ横ばい、

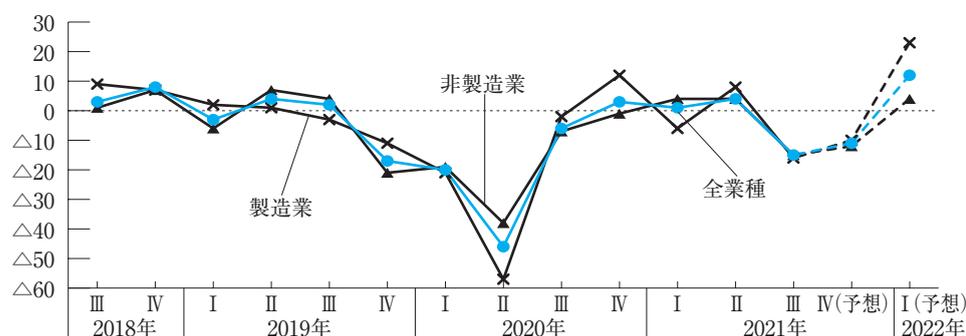
全業種BSI



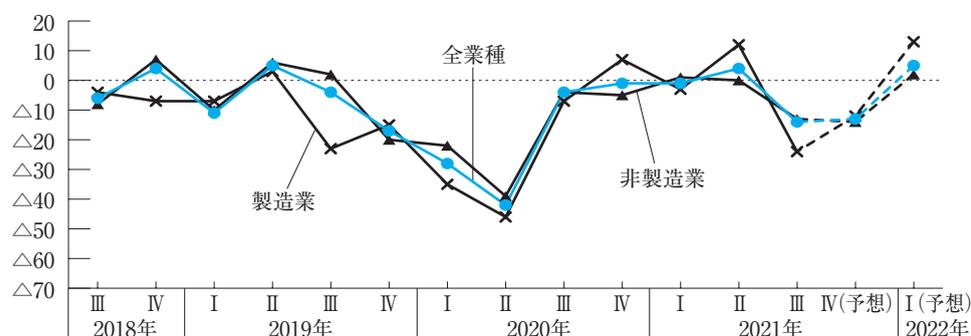
売上げBSI ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 11$)はやや改善、業況判断BSI ($\Delta 21 \rightarrow \Delta 13$)は改善の見通しである。なお、この業況判断BSIは、過去約15年(2006年10~12月期以降)の平均($\Delta 16$)をやや上回る水準となっている。続く1~3月期は、売上げBSI ($\Delta 11 \rightarrow 12$)、収益BSI ($\Delta 13 \rightarrow 5$)、業況判断BSI ($\Delta 13 \rightarrow 1$)はともに改善する見通しである。

新型コロナウイルスの感染状況が足元にかけて落ち着き、ワクチン接種が進んでいることも安心材料となり、改善を見込む企業が増えている。もっとも、2022年1~3月期の業況判断BSI(1)は高い水準ではなく、先行きに対する不透明感は根強い。

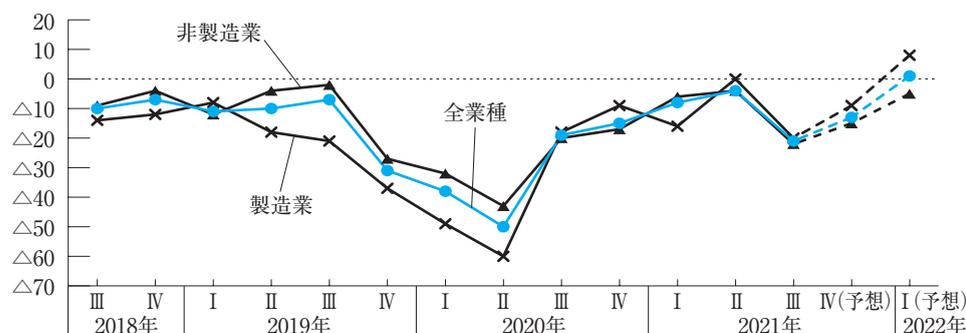
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

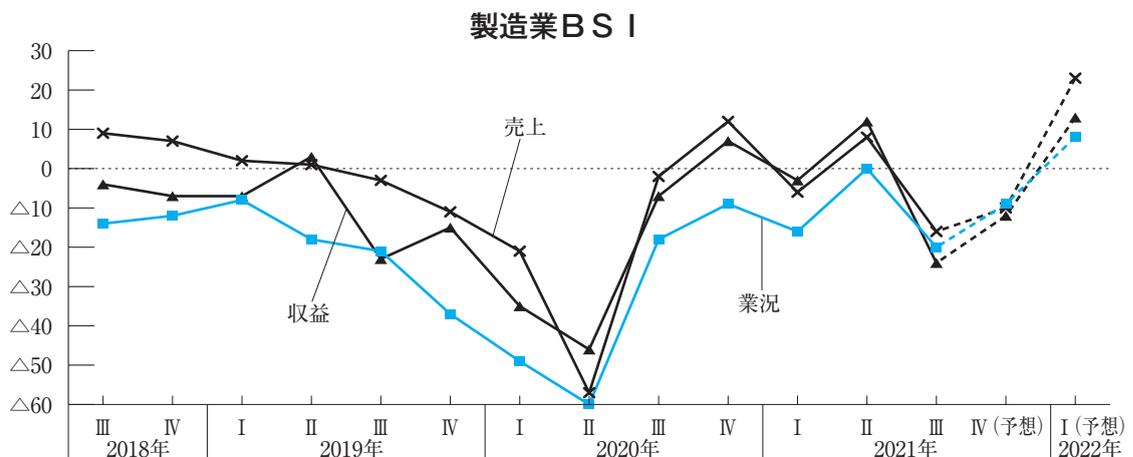
【製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも悪化

当期は、前期と比べ、売上げ BSI (8 → △16)、収益 BSI (12 → △24)、業況判断 BSI (0 → △20) はともに悪化した。業況判断 BSI については、改善と回答した企業が非常に少なく、新型コロナウイルス感染拡大の影響が強く現れた結果となっている。

【先 行 き】 業況判断 BSI は10~12月期、2022年1~3月期はともに改善の見通し

2021年10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI (△16 → △10)、収益 BSI (△24 → △12)、業況判断 BSI (△20 → △9) はともに改善となっている。続く2022年1~3月期の予想は、10~12月期に比べ、売上げ BSI (△10 → 23)、収益 BSI (△12 → 13)、業況判断 BSI (△9 → 8) と引き続き改善する見通し。

業況判断 BSI については、原材料価格の上昇や半導体不足、東南アジアなど海外での新型コロナウイルス感染拡大等の影響がみられるものの、国内では足元にかけて感染状況が落ち着いてきたことなどにより、先行き改善を見込む企業が増えている。



3. 非製造業の動向

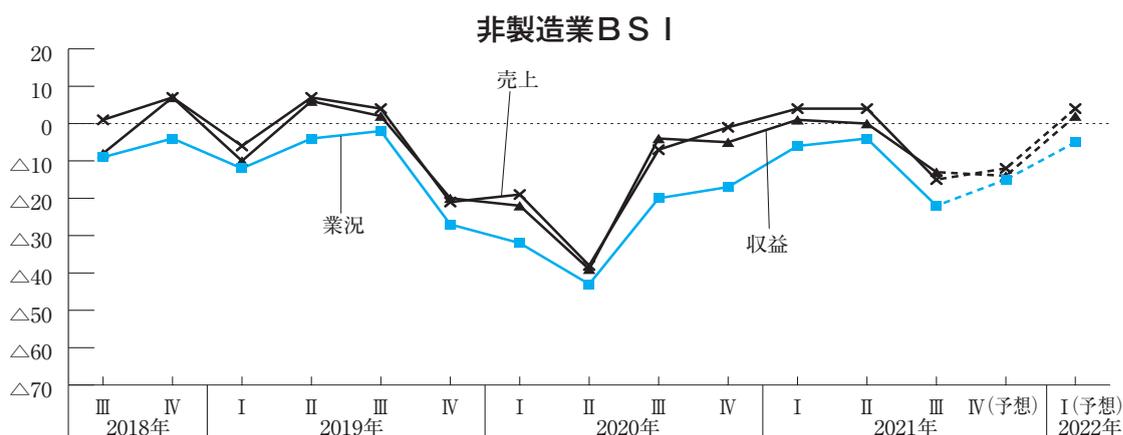
【非製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも悪化

当期は、前期に比べ、売上げ BSI (4 → △15)、収益 BSI (0 → △13)、業況判断 BSI (△4 → △22) とともに悪化した。業況判断 BSI については、とくしまアラートが「特定警戒」に引き上げられた中、飲食店に対して時短営業が要請されるなど自粛ムードの影響が強く、小売業、サービス業などでの悪化が目立っている。

【先 行 き】 業況判断 BSI は10~12月期、2022年1~3月期とも改善の見通し

2021年10~12月期の予想をみると、当期に比べ、収益 BSI ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 14$) はほぼ横ばいの一方、売上げ BSI ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 12$) はやや改善、業況判断 BSI ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 15$) は改善する見通しとなっている。また2022年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げ BSI ($\Delta 12 \rightarrow 4$)、収益 BSI ($\Delta 14 \rightarrow 2$)、業況判断 BSI ($\Delta 15 \rightarrow \Delta 5$) はともに改善する見通しである。

業況判断 BSI の改善については、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いてきていることなどが影響している。もっとも、水準は製造業を下回っており、先行きに対し慎重に予想する企業が多いことが示されている。

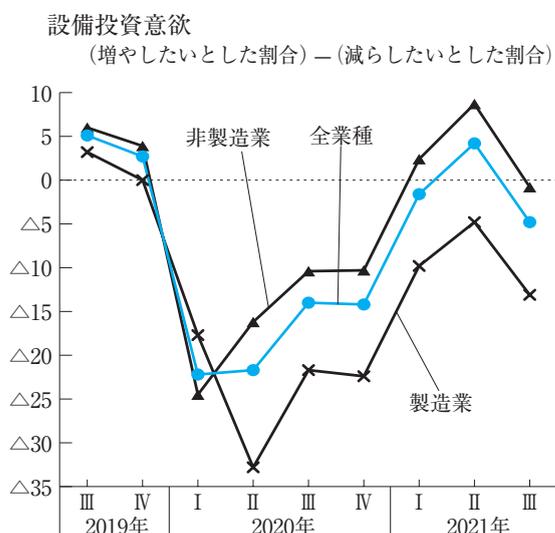


4. 設備投資の動向

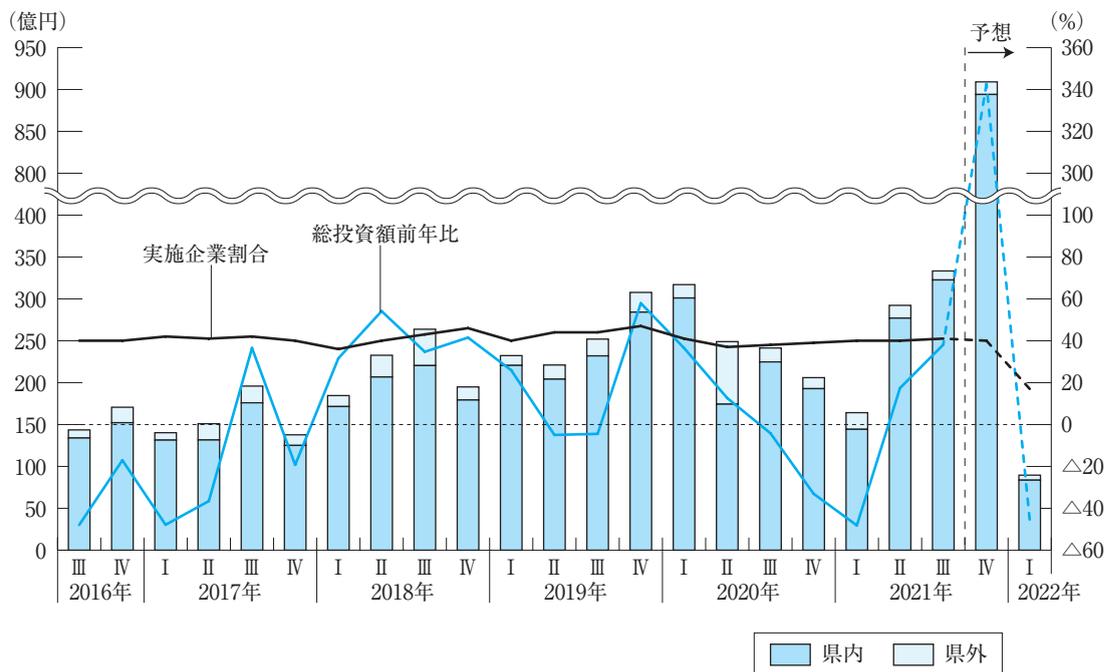
回答企業（全産業）のうち、2021年7~9月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の41.1%、総投資額は333億37百万円（県内投資額は322億63百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、非製造業が減少した一方、製造業は増加しており、全体で38.1%増となった（前期比14.0%増）。また、実施企業の割合は、2.7ポイント上昇となった。

先行きの計画をみると、10~12月期の実施企業割合は39.5%で前年同期より0.9ポイント上昇、総投資額は約911億円で前年同期比342.3%増と、大幅な増加となる見込み。続く2022年1~3月期の総投資額は約90億円で同45.4%減となる見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が14.1%、「減らしたい」が18.9%、「ほぼ変わらない」が67.0%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（ $\Delta 4.8$ ポイント）は、前期（4.2ポイント）から低下しており、6期ぶり上昇となった前回調査から一転して「増やしたい」企業割合が「減らしたい」企業割合を下回る結果となった。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、60.7%で前年同期より15.7ポイント上昇した。総投資額は、300億47百万円（前年同期203億91百万円）で、大手の化学、電気機械などで増加したことを主因に前年同期比47.4%増となった。うち、県内投資額は290億63百万円（同192億32百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」、「研究開発」の比率が低下した一方、「既存設備の補修更新」、「環境対策」、「合理化・省力化」、「新規事業」は上昇した。

先行きの計画をみると、10～12月期の総投資額は約884億円で前年同期比376.3%増、続く2022年1～3月期は約62億円で同56.7%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」（11.5%）とする企業割合が「減らしたい」（24.6%）を13.1ポイント下回り、7期連続のマイナスとなった。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、31.5%で前年同期より3.7ポイント低下した。総投資額は、32億90百万円（前年同期37億48百万円）で、運送業や小売業など幅広い業種で増加したものの、サービス業で大型投資があった反動が大きく同12.2%減となった。県内投資額は32億円（同32億46百万円）となっている。

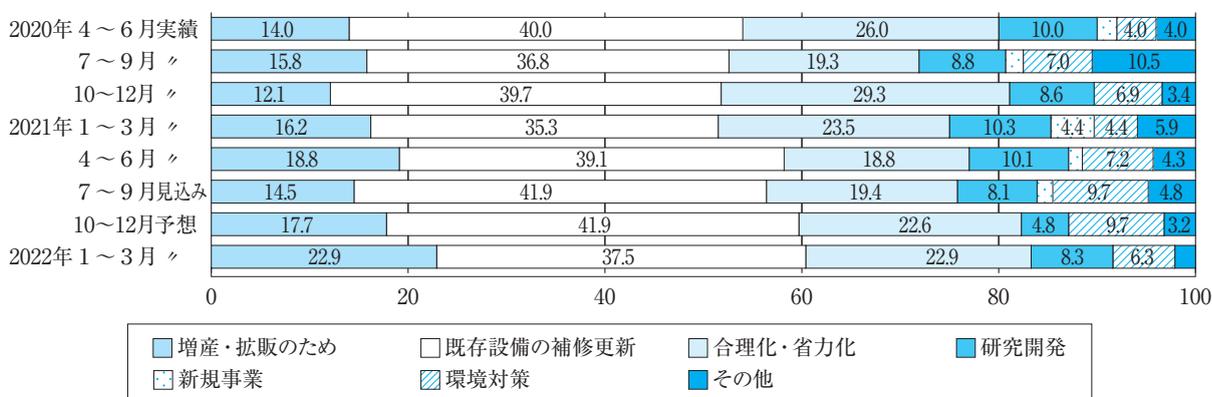
目的別にみると、前期と比べ、「店舗の移転」、「研究開発」、「拡販のため」の比率が低下した一方、「既存設備の補修更新」が50%超のほか、「合理化・省力化」、「新規事業」が上昇した。

先行きの計画をみると、10～12月期の総投資額は約27億円で前年同期比31.9%増、続く2022年1～3月期も約28億円で同28.9%の増加となる見込みである。

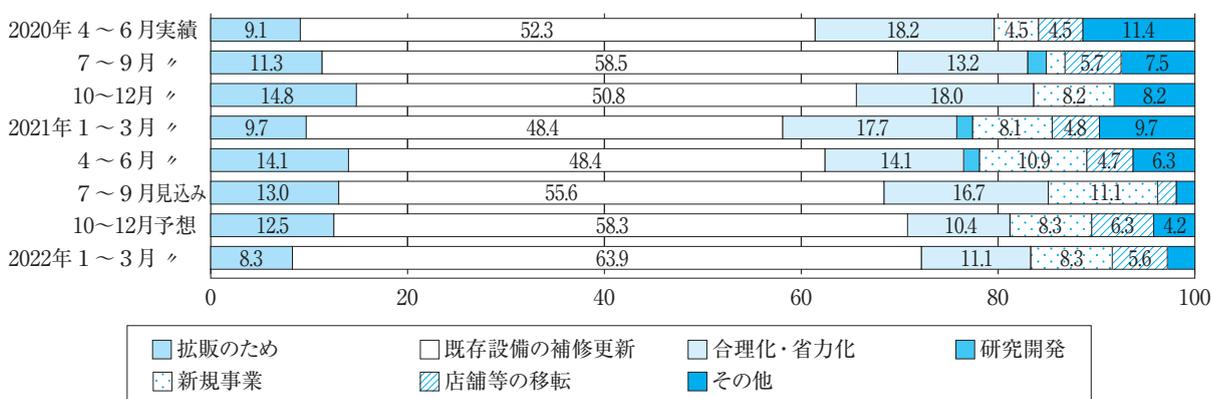
今後1年間の投資意欲は、前期（8.7ポイント）は「増やしたい」企業割合が「減らしたい」割合を上回っていたものの、今回は「増やしたい」（15.3%）とする企業割合が「減らしたい」（16.1%）を0.8ポイント下回る結果となった。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	2	0	2
	5～10百万円未満	5	1	4
	10～50百万円未満	105	30	75
	50～1億円未満	45	18	27
	1億円以上	28	12	16
	計	185	61	124
従業員数	10人未満	17	2	15
	10～30人未満	33	13	20
	30～50人未満	37	11	26
	50～100人未満	38	7	31
	100～200人未満	26	8	18
	200～300人未満	15	8	7
	300～	19	12	7
計	185	61	124	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		12
	繊維製品		2
	木材・木製品		8
	パルプ・紙		3
	化学工業		10
	窯業・土石		2
	機械・金属		16
	その他		8
	計		61
非製造業	建設業		15
	運送業		11
	卸売業		31
	小売業		28
	サービス業		38
	その他		1
計		124	
総数		185	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年1～3月実績	8	41	51	△43	△38	5	35	60	△55	△49	10	44	46	△36	△32
4～6月々	9	25	66	△57	△50	8	22	70	△62	△60	9	28	63	△54	△43
7～9月々	18	44	38	△20	△19	20	37	43	△23	△18	18	46	36	△18	△20
10～12月々	23	52	25	△2	△15	26	52	22	4	△9	21	53	26	△5	△17
2021年1～3月々	18	50	32	△14	△8	16	46	38	△22	△16	19	52	29	△10	△6
4～6月々	13	63	24	△11	△4	16	65	19	△3	0	12	61	27	△15	△4
7～9月見込み	8	63	29	△21	△21	5	65	30	△25	△20	10	61	29	△19	△22
10～12月予想	16	68	16	0	△13	18	69	13	5	△9	15	67	18	△3	△15
2022年1～3月予想	17	61	22	△5	1	20	62	18	2	8	15	61	24	△9	△5

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年1～3月実績	17	32	51	△34	△20	13	26	61	△48	△21	20	34	46	△26	△19
4～6月々	15	20	65	△50	△46	18	15	67	△49	△57	13	23	64	△51	△38
7～9月々	32	30	38	△6	△6	35	23	42	△7	△2	32	32	36	△4	△7
10～12月々	45	32	23	22	3	57	22	21	36	12	40	36	24	16	△1
2021年1～3月々	27	32	41	△14	1	21	23	56	△35	△6	30	37	33	△3	4
4～6月々	30	40	30	0	4	42	34	24	18	8	24	43	33	△9	4
7～9月見込み	23	39	38	△15	△15	23	33	44	△21	△16	23	42	35	△12	△15
10～12月予想	26	56	18	8	△11	30	55	15	15	△10	25	55	20	5	△12
2022年1～3月予想	22	52	26	△4	12	23	47	30	△7	23	21	55	24	△3	4

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年1～3月実績	14	38	48	△34	△28	8	36	56	△48	△35	17	39	44	△27	△22
4～6月々	14	22	64	△50	△42	16	19	65	△49	△46	12	25	63	△51	△39
7～9月々	31	31	38	△7	△4	33	25	42	△9	△7	30	35	35	△5	△4
10～12月々	41	34	25	16	△1	50	24	26	24	7	37	38	25	12	△5
2021年1～3月々	28	37	35	△7	△1	28	28	44	△16	△3	28	41	31	△3	1
4～6月々	26	43	31	△5	4	35	39	26	9	12	21	45	34	△13	0
7～9月見込み	20	43	37	△17	△14	18	39	43	△25	△24	21	45	34	△13	△13
10～12月予想	24	56	20	4	△13	26	54	20	6	△12	23	57	20	3	△14
2022年1～3月予想	23	53	24	△1	5	26	46	28	△2	13	21	56	23	△2	2

(注) B S I = (好転) - (悪化)